

平成25年3月号

温海ふるさと通信

春 いゆ 猿!

イベントあれ・これ

第2回 あつみ温泉 摩耶山新酒まつり



3月2日(土)温海ブランド創生会主催の「摩耶山新酒まつり」が行われました。大変な猛吹雪に見舞われました。が「こんな吹雪の日になんでこんなにお客さんがいるのだろう」と実行委員も驚くほどの盛り上がりでした。

JRあつみ温泉駅 リニューアル記念セミナー



3月2日(土)JRあつみ温泉駅でリニューアル記念セミナーが行われ、「辨天太鼓」の演奏や「摩耶山」や「あんこう鍋」が振舞われました。暴風雪により電車が遅れてしまいましたが、温かいおもてなしに乗降客も疲れを忘れるひと時となりました。

あつみ温泉一本木スキー場 20年の歴史に幕が・・・



2月24日(日)20年続いたスキー場の歴史に幕が下ろされました。この日はスキー場感謝祭が開催され、お別れのセレモニーなども行われ、多くのスキーヤーが名残りを惜しんでいました。さようなら 一本木スキー場



2/27温海庁舎から撮影

2月27日(水)旧温海高脇の田んぼに猿の群れが現れました。子猿を含めて20頭余り、庁舎からも猿の姿を見ることができました。「落穂拾い」といったところでしょうか。近年温海地域では山間部を中心に農作物の猿被害が深刻化しており、市でもその対策を講じていますが、どうも猿のほうの頭がいいようでなかなか効果があがりません。うまく共生できる方法はないのでしょうか。

こちらは本当に 春の気配



猿が現れた日と同じ27日(水)小岩川の通称「割り山」の様子です。しゃりんの駐車場から撮影しています。国道7号脇には白いものが残っていますが、ほかほかと春の気配を感じさせる一日でした。が、この後3月に入り大寒波に見舞われ真冬に逆戻り、「三寒四温」とはよく言ったもので、今年はその差が大きいようです。3月10日には鼠ヶ関で最高気温が21.1℃まで上昇、少しずつ春の足音が聞こえてきたふるさと「温海」です。

第28回 温海さくらマラソン 開催



第27回大会 桜満開のかじか通りを駆け抜けるランナー

4月21日(日)28回目を迎える「さくらマラソン大会」が温海温泉林業センターを主会場に開催されます。開湯1,000年の歴史を有するあつみ温泉に全国から1700名のランナーが集結、桜の花満開の下、海、山、川と豊かな自然に恵まれた温海地域を駆け抜けます。ゲストランナーは、鶴岡市出身で実業団の「資生堂」で活躍した佐藤由美さんです。

※申し込みは締め切りとなりました。

さくらマラソンHP

<http://www.sakuramarathon.sakura.ne.jp/akura/TOP.html>



あつみ温泉 湯のまち人形めぐり

◎開催期間：3/1(金)～3/31(日)

あつみ温泉街の旅館など19箇所で開催される雛人形をはじめ姉さま人形・土人形など可愛らしい人形を多数展示されます。

☆人形めぐりスタンプラリー

各展示施設にあるスタンプを5つ以上集めた方は、素敵な景品が当たる抽選会に参加できます。

☆期間限定ランチ『雛チラシ・雛DON』

気軽に楽しめるちらし寿司、どんぶりランチを用意。

☆あつみ温泉雛まつり

【日時】3月24日(日)午前10時～

【会場】あつみホテル温海荘

【内容】流し雛、巫女舞、甘酒の振舞いなど

※「摩耶山」の新酒をご用意しています。

あつみ温泉観光協会HP <http://www.atsumi-spa.or.jp/>



鼠ヶ関の「今」んめ魚

鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」



以前警察の鼠ヶ関駐在所があった国道7号の鼠ヶ関入口交差点脇にこのような看板が立っています。この看板は鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」が管理しており、鼠ヶ関で取れる旬の魚やイベントの告知に利用しています。この他「蓬莱塾」では、鼠ヶ関の活性化に向け、「お魚夕市」「漁船クルージング」などのイベントなど、活性化に向け先駆的な活動を展開しています。

日沿道全線開通に向け更なる活躍が期待されます。

「蓬莱塾」の詳しい活動は、ホームページで。



あ.と.が.き 小国の話:卒業シーズンとなりました。私の娘も無事小学校を卒業することになりました。今年の小国の卒業生は6人です。私が卒業した40年前の小国小学校の卒業生も6人でした。小国も10年ほど前は小学生が15人くらいまで減っていましたが、現在の小学生は30人です。40年前に比べて世帯数が△35世帯、人口で△260人と全体的には減少傾向にある中で子どもの数が増えているのは大変うれしいことで、若い世代が小国に定着して子育てをしているからだと思えます。

小国には、国指定「小国城跡」、市指定「小国八幡宮弓射神事」、「小国大名行列」といった文化財が残されており、その維持管理、伝承活動は厳しいものがあります。人口の減少に伴い自治会運営も含めて一人ひとりに掛かる負担は年々大きくなっていますが、逆に若い年代層にもその責任を持たせることで、「自分が守る、自分の役目」という存在感を感じる事ができている。これが若年層の定着につながっているのではないか、などと勝手に方向に分析しております。勝手ですが小国弓のPRをさせていただきます。

伝承450年、鶴岡市指定無形民俗文化財「小国八幡宮弓射神事」は来年の3月に4年ぶりに公開されます。雪の舞う屋外、雪の矢場、吹きささぶ寒風の中、若者たちが片肌脱ぎで奉納する弓の神事は一見に値します。興味のある方は是非お出でください。旧小国小学校に宿泊もできます。大変寒いですが・・・。

担当
鶴岡市 温海庁舎 総務企画課
総務地域振興主査 五十嵐 浩一
Tel43-4611 Fax43-4632